【別紙様式1】

大分市立滝尾中学校 学力向上プラン1（8月）

学校教育目標	夢の実現に向け 主体的に思いつづけ 学びつづけ 挑みつづける生徒の育成
育成を目指す資質・能力	「思ふ」・・・学びに向かう力、人間性等の涵養　「学ぶ」・・・思考力、判断力、表現力等の育成　「挑む」・・・知識及び技能の習得

児童生徒の課題

学力状況について

○全国学力・学習状況調査（3年国語/数学）（平均正答率）

	本校	大分県	全国
国語	**65**	64	63.9
数学	**61**	55	57

○全国学力・学習状況調査（3年英語）（平均正答数）

	本校	大分県	全国
英語	**3.7**	3.5	3.7

○大分県学力定着状況調査（2年）

正答率	国語	**63.1**	社会	**53.2**	数学	**60.4**	理科	**53.5**	英語	48.8
目標値		59.2		50.5		57.2		50.3		50.5

○1学期期末テスト 70点以上60%以上 40点未満10%以内

70点以上(%)						40点未満(%)					
	国語	社会	数学	理科	英語		国語	社会	数学	理科	英語
1年	55.0	28.3	53.5	**60.6**	37.4	1年	13.1	25.4	12.6	10.1	31.8
2年	38.1	**61.4**	58.8	38.5	39.2	2年	18.8	17.4	15.5	28.0	21.1
3年	58.4	44.0	57.0	**61.7**	51.4	3年	11.9	11.9	15.3	13.6	24.7
学校全体	50.8	43.8	56.3	54.1	42.4	学校全体	14.5	18.6	14.4	16.8	26.3

<分析>

○全国学力・学習状況調査

・全ての教科で県平均を上回った。国語と数学では、全国平均を上回っており、英語では全国平均と同等であった。

・領域別で見ると、数学では「関数」「データの活用」が、全国平均を大きく上回っている。

○大分県学力定着状況調査

・英語が目標値をやや下回ったが、その他の教科は目標値を大きく上回った。

・領域別でみると、理科では「エネルギー」の分野、英語では、「聞くこと」「読むこと」の分野が、目標値を下回っている。

○1学期期末テスト

・70点以上の生徒の割合を60%以上にするという目標を学年によっては達成した教科はあったが、40点未満の生徒の割合を10%未満にするという目標を達成した教科がなかった。

・勉強が苦手な生徒に対する手厚い取組が必要である。

・テスト前の教え合い学習や補充学習の充実を図る必要がある。

学習状況について

○ 全国学力・学習状況調査（3年）

・1日の学習時間（学校の授業以外平日）の割合

3h以上：12.9%　2～3h以上：32.3%　1～2h以上：36.6%　0.5h～1h：10.8%

（以下の質問①できた②どちらとも言えばできた ③どちらかと言えばできていない ④できていない）

・話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。

① 46.1%　② 43.5%　③ 7.8%　④ 1.7%

・授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。

① 32.8%　② 47.0%　③ 15.9%　④ 1.7%

・分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

① 34.5%　② 47.5%　③ 17.7%　④ 0.4%

○ 大分県学力定着状況調査（2年）

・1日の学習時間（学校の授業以外）の割合

3h以上：15.1%　2～3h：33.8%　1～2h：33.8%　0.5h～1h：16.8%

（以下の質問①よく行った②時々行った③あまり行わなかった ④行わなかった）

・授業では、となり同士やグループで話し合ったり、討論したりすることがありますか。

① 42.2%　② 40.9%　③13.8%　④ 0.4%

・クラス全体やグループ、友だち同士の話合いで自分の意見を積極的に発言していますか。

①26.7%　② 48.0%　22.70%　④ 2.7%

・クラスの話合いや友だちとの間で意見が合わなかったとき、みんなが納得できるように、考えて、提案していますか。

①15.6%　② 44.4%　③ 31.6%　④ 8.4%

・授業や日常生活の中で、不思議だな、どうしてだろう、と思ったことを調べていますか。

①13.3%　② 42.2%　③ 36.0%　④ 8.4%

・グループで話し合う授業は楽しいですか。

①楽しい44.9%　②まあまあ楽しい46.7%　③あまり楽しくない7.6%　④楽しくない0.0%

<分析> 授業での話合いや、教え合い活動が8～9割程度行われており、相手の考えや意見を聞き、自分の考えを伝える場は充分に確保できていると考えられる。話合いの場面では、自分の意見を積極的に発言できたかの質問に対して、できたと答えた生徒が7割程度であり、相手と意見が違う場合に、納得できるように考え、提案しているかの質問に対しては、できたと答える生徒が6割程度と低くなった。

話合いの場面で、自分の意見を活発に発言できるよう支援を行う。また、相手に対して自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表できるよう指導し、より互いの考えが深まるようにしていきたい。

指導の状況

・定期テストに向けて、計画表作成や教え合い学習を取り入れ、テスト勉強の進め方について指導を行った。

・定期テスト前に教え合い学習や質問教室を行い、基礎学力の定着を図るための取組を行った。

・単元テストや小テストを行い、事後の指導でやり直しを充実させることで、定期テストにつながるように指導した。

・課題の提出ができていない生徒には個別の指導を行うと同時に、家庭と連携を取り、基礎学力の定着を図った。

学力に関する達成指標

○「授業が楽しい、よく分かった」と答える生徒を90%以上にする。

今後の具体的な取組

【授業改善】

〈授業改善のテーマ・重点〉

（授業改善テーマ）

学ぶ意欲を高め、確かな学力へとつなげる学習指導のあり方

（授業改善の重点）

ICT機器の活用と話合いの工夫を通して、基礎学力の定着と主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図る。

〈取組内容〉

○ 小テストや単元テスト等を行い、スモールステップで学習内容を定着させる。

○ ペアやグループ活動など「伝え合い、学び合い」の場を取り入れ、考えを広げたり深めたりするための手立てを工夫する。

○ デジタルドリルやロイロノートの問題機能を活用し、生徒がそれぞれの学力に応じた問題に主体的に取り組めるようにする。

〈取組指標〉

○ 単元が終わる度に、単元テスト等を行い、学習内容の定着を図る。

○ 単元の中で、1回以上はペアやグループで、考えを伝え合い、学び合う時間を取り入れる。

○ 年に2回以上、ICT機器を活用した授業のスキルアップを図るための研修を行う。

〈検証指標〉

○ 期末テスト70点以上の生徒の割合を60%以上にする。

○ 期末テスト40点以下の生徒の割合を10%以内にする。

○ 「自分の意見や考えをもち、進んで話したり考えたりすることができた」と答える生徒を90%以上にする。

【家庭・地域との協働】

〈家庭・地域の取組内容〉

○保護者がこどもの様子（学習状況や自己の生き方を実現する力）に関心をもち、こどもと話す。

○授業参観や学校行事に参加する。

〈家庭・地域の取組指標〉

○進路や仕事、学校生活や社会で起きていることなどについて、10分程度週に1回以上はこどもと話をする。

○学校や学年・学級通信により、学校の様子を地域や保護者に伝える。

〈家庭・地域の検証指標〉

第1回学校評価票より（保護者評価）

○「こどもは、自分の意見や考えをもち、進んで話したり聞いたりすることができた」

1年 76.8%　2年 73.8%

3年 75.3%　全体 75.5%

○「こどもと家庭で進路や仕事、学校生活や社会で起きている事などについて話した」

1年 81.6%　2年 84.4%

3年 86.8%　全体 83.9%

○通信やホームページを通じて、学校の様子や取組を分かりやすく伝えた。

1年 90.1%　2年 88.2%

3年 92.2%　全体 90.1%

【授業改善以外の学力向上の取組】

・各教科における評価基準や評価の方法について共通理解を図る。

・テスト期間中、全校で教え合い学習を実施する。

・テスト2週間前から、朝自習や放課後の時間に、講座をもつ。講座は、基礎と応用に分け、基礎は低学力層の生徒を対象にする。

・昼休みや放課後、長期休業を使って補充学習を行う。

・課題の点検や個別の指導をこまめに行うと同時に、家庭との連携を取り、家庭学習の定着と充実を図る。